令和 7年 3月 22日 (5月 27日更新)

建設系分会 会員各位

明専会 東京支部 建設系分会
分会長 柿原 利孝 (開 46)

春季講演会のご案内

拝啓

早春の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の明専会東京支部 **建設系分会の春季講演会・懇親会**を下記の通り開催いたします。

昨年から春季講演会は、外部から講師を招いて開催しております。これに伴い、昨年同様に、総会は秋季講演会と同時に開催しますことご了解ください。

会員が集い懇親・情報交換の機会として、分会で運営する公式行事は今回の春季講演会・懇親会と11月の秋季講演会・懇親会があります。皆様には大変ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席を頂けますようご案内申し上げます。なお、平成卒会員の参加が非常に少なく、今後の運営を危惧しています。本講演会は会場とオンラインのハイブリッドで開催いたしますので、会場での参加が困難な方もオンラインでの参加もできますので、よろしく願いいたします。

分会では同窓の絆を深めるため年4回(偶数月の第2火曜日、2月8月はなし)の『九工大開土会』ゴルフを開催しております。場所は千葉県野田市の千葉カントリー川間コースです。現在は45年から49年卒の方が参加されています。近くにお住まいの方はぜひ参加されますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時：令和 7年 6月 21日 (土) 11:00~12:30

開催場所：明専会東京センター 九州工大鳳龍クラブ (新橋)

電話：03-3572-2009

行事予定：講演会：11:00~12:30 (質疑含む)

演題：本州四国連絡橋における橋梁技術の発展とマレーシアの橋梁技術

講師：吉田好孝 様 (国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センター講師)

講演の詳細については、本紙裏面をご覧ください。

懇親会：12:30~15:30

懇親会費 3,000円 (当日ご持参下さい。)

新人会員 1,000円、女性・若手(35才以下) 2,000円

【事務局からのお願い】

- ・出欠について同封の返信ハガキにて、東京支部春季講演会に参加される方は4月5日までにご返信下さい。建設系の春季講演会のみに参加される方は下記メールアドレスに「オンラインで参加」か「鳳龍クラブで参加」のどちらかを記載してご返事ください。「オンラインで参加」の方には、後日メールにて案内しますので、メールアドレスの記載を忘れずをお願いいたします。
- ・令和7年度分の分会費2,000円の納入は振込手数料込みで下記のいずれかでお願いいたします。
 1. 同封の郵便振込用紙で振り込む。
 2. ゆうちょ銀行(振込口座 029店 当座 49159 口座名明専会東京支部 鉦山・建設系分会)
 3. りそな銀行振込(港北ニュータウン支店 普通口座 0406669 口座名 小郷政弘(会計担当))
 4. 当日、ご出席される方は、会場でもお受けいたします。

- ・連絡先：分会長 柿原利孝 (電話：043-211-6977、メール：tkaki026@jcom.zaq.ne.jp)
分会幹事長 岡田光志 (電話：045-664-1336、メール：ko_okada@toa-const.co.jp)

- ・本講演会は、公益社団法人土木学会の CPD プログラムの以下の認定を受けましたので、継続教育プログラムとしてもご参加いただけます。

団体名：一般社団法人明専会東京支部建設系分会

行事名：令和7年度明専会東京支部建設系分会春季講演会

開催場所：【対面+オンライン】

明専会東京センター（九州工大鳳龍クラブ）

CPD 単位：1.5

学習分野：学習分野 L, G, N

認定番号：JSCE25-0534

(参照 URL：<https://www.jsce.or.jp/cpd/Search.aspx>)

- ・春季講演会に参加の皆様のうち、希望者には、CPD プログラムの受講証明書を発行いたします。
この受講証明書が必要な方は、事務局の岡田（建設系分会幹事長 開 62 卒）に、事前にメールでお申し込みください。
- ・CPD 受講証明に関して不明な点がございましたら、事務局の岡田までお問い合わせください。
- ・CPD プログラム受講証明書の発行にあたり、以下の点についてご注意願います。
 - ◆CPD 受講証明書は、土木学会の書式で発行いたします。
土木学会以外の団体に提出する場合の方法などは、提出先団体に事前にご確認ください。
他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたしかねますこと、あらかじめご承知おきください。
 - ◆明専会東京センター（九州工大鳳龍クラブ）で対面参加の方に対しては、最後まで講演会に参加されたことを確認した上で発行いたします。
手続き上、後日、メールでの発送になる可能性がありますことあらかじめご承知おきください。
 - ◆オンライン参加の方については、講演会開始時、講演会中、講演会終了時点の画面表示により、参加を確認いたします。
その際、事務局からお声掛けいたしますのでご対応をいただくとともに、お名前の表示は『お名前_卒年』で表示いただきますようお願いいたします。（例：岡田光志_開 62）
 - ◆オンライン参加の方は、講演会終了後、受講して得られた所見（学びや気付き）を 100 文字以上で、メールのテキスト文で結構ですので、事務局の岡田まで 6 月 30 日（月）17:00 までに提出いただきますようお願いいたします。内容を確認した上で、受講証明書をメールで発行いたします。

令和7年度 春季講演会 講演概要

演 題： 本州四国連絡橋における橋梁技術の発展とマレーシアの橋梁技術

講 師： 吉田好孝 様（国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター講師）

【講演の要旨】

I. 本州四国連絡橋における橋梁技術の発展

—そして第2関門橋へ—

大三島橋の全体構造、明石海峡大橋のケーブル技術開発などの事例を紹介します。

II. マレーシアの橋梁技術

—ユニークな橋梁デザイナー—

マレーシアの橋梁技術の現状とペナン島連絡プロジェクトの実施などを、多民族国家の人々のエピソードとともに紹介します。

【講師の略歴】 北海道出身

1972年：室蘭工業大学工学部土木工学科卒、在学中に国家公務員試験上級甲種（旧国公Ⅰ種）合格。

本州四国連絡橋公団に採用、本社設計部、企画部、工務部、第一～第三各建設局及び工事事務所等において設計、建設などの業務に従事。

1990年：同公団 第一建設局建設部設計課長（神戸市）

1993年：東京湾横断道路（株）、技術部技術部技術第2課長（出向）

1997年：本州四国連絡橋公団 第三建設局向島（むかいしま）管理事務所長など（尾道市）。

2000年：東京湾アクアライン橋梁部の風による振動の研究に関し東京大学より博士号（工学）授与。

2001年：マレーシア国 公共事業省公共事業総局橋梁部へ派遣（JICA 橋梁専門家）。

2003年：同公団へ復帰、（財）海洋架橋・橋梁調査会 調査部長（出向）。

2005年：同公団を定年退職、（財）海洋架橋・橋梁調査会 研究部長

2010年：大日本コンサルタント（株）（現 大日本ダイヤコンサルタント（株））

保全エンジニアリング研究所 副所長

2012年：（財）海洋架橋・橋梁調査会（現（一財）橋梁調査会）企画部調査役

2019年：（株）クリテック工業 技術顧問、（国研）建築研究所国際地震工学センター講師、現在に至る。

【保有資格】

博士（工学）（東京大学、藤野研、論文）、土木学会フェロー、土木学会特別上級技術者、技術士（鋼構造及びコンクリート、総合技術監理）、コンクリート診断士、道路橋点検士

【著 書】

- ・『保全技術者のための橋梁構造の基礎知識』鹿島出版会（共著）、『道路橋の補修・補強計算例』、『同Ⅱ』、『同Ⅲ』鹿島出版会（編集及び共著）、
- ・『橋梁技術者が見たマレーシア —輝く入道雲の国の橋と人々、文化—』橋梁通信社